

委員会のうらぎ



総務

平成22年度当初予算決まる



総務常任委員長
坂本 あや

◆3月議会には平成22年度の一般会計当初予算が提案されました。91億3千万円の予算は昨年度より10.94%の増額となりました。

22年度は情報基盤整備事業や佐賀中学校の建設工事等の大型事業があるなど、予算額は膨れていきましたが、当初予算の計上時に財政調整基金の繰り入れをすることなく予算編成がなされており、本年度の予算と比較して基金の繰入額が大幅に減っています。しかし、議員からは大型事業が増え、公債費率も高くなることに對して後年度への負担が大きくなり残らないように十分な検討をしていくことを求める意見が出されました。また、国から指摘を受けている職

員給与の「渡り」については、町長から本年度は調整が出来なかったが、22年度には調整をするとの発言があり、議会としては注目すべき点として経過を重視していきたいと思えます。

◆一般会計補正予算では、国の事業見直しによって減額されたり、予定していた事業費が入る心配される情報基盤整備事業があるとの説明がありました。また、本年度の緊急雇用対策事業に対応して前倒しをしていた事業等の消化が出来ず、来年度に繰り越す等、国の動向に左右される本町の厳しい財政状況が見られました。

◆条例案では、大方球場に照明設備が完成したことによる使用料の改正案が提案され原案通り可決されました。その他、22年度の行政機構改革に伴い議会各常任委員会の所管の変更があり、新体制への対応を決めました。

教育厚生

佐賀中学校改築

23年7月完成予定



教育厚生常任委員長
宮地 葉子

◆22年度の予算

3月議会の主な内容は22年度の予算審議です。民生費、衛生費、教育費は、ほとんどが必要経費として例年並みの予算でした。特徴的なものをお知らせします。

*佐賀中学校改築予算

22年度分約4億4千万円（総事業費約7億円）。校舎は3階建て鉄筋コンクリート造りです。県内産の木材を使って、温もりのある木造の校舎は出来ないものか、また地元業者にも仕事が回るようにといった意見が出されました。

*大方生華園改築補助金

30年経ったこの施設が改築されます。総事業費は約4億円で、町からの補助金1千万円が計上されました。

*幡多広域市町村圏事務組合清掃費負担金（ゴミ焼却施設）負担金約1億3300万円は、昨年より508万円減額です。人口減などでゴミは全体的に減っているそうです。

◆大方児童館民間委託に

22年度から大方児童館の運営を指定管理者に委託することになりました。委託先は「NPO童夢」（代表者・坂本末廣氏）、委託費は1124万円です。

児童館は「浜松解放子ども会」・「高校友の会」の活動が主な活動内容です。

